

2
vol. 240

広報 縄文村だより vol.240(2月号)

Jomon Times

令和8年2月1日
●編集・発行●
奥松島縄文村歴史資料館
東松島市宮戸字里81-18
TEL 88-3927 FAX 88-3928

縄文の つる 編み

11月29・30日の2日間「縄文のつる編み」を2年ぶりに開催しました。自然のものから材料を調達し道具作りをしていた縄文人にない、史跡公園でつるを自ら採集し、カゴ編みに挑戦! 県内から18名が参加しました。

つるを採る。DAY1

1日目は、史跡公園内にある山へつるを採集に行きます。かごに使用するのは、土の中を這っているつる。枯葉をかきわけ、つるを追いかけていきます。

昨年度イベントを休止したためか、今年は十分にカゴが編めるくらいの量が採集できました。



午後は、根切りと洗浄作業。小さな根っこを切り、泥汚れを落とします。きれいなカゴを編むにはとても大事な作業! 一本一本ていねいにつるをきれいにしました。



つるを編む。DAY2

2日目。学芸員による「縄文人の植物利用」についての縄文講座から始まりました。

近年、縄文時代の植物利用の研究が進み、カゴの素材の地域性や、多様な編み方が明らかになってきたことが詳しく解説されました。



待ちに待った「つる編み」の時間です! 作りたいカゴの大きさをイメージしながら“芯”となるつるを用意します。

十字に組んだつるに、編み材のつるを上下に巻きつけながら底を作ります。つる編みの難所はこの「底作り」! 最初は慎重に編み進めていた皆さんですがコツを掴むのが早く、どんどんカゴの形になっていきました。

今年は取っ手付きの大型のカゴが人気! 出来上がったカゴを掲げて嬉しそうに見せあっていたのが印象的でした。

やさいを入れるカゴ完成!



縄文人の編みカゴ

低湿地遺跡が明かす植物利用

日本の土壌は酸性で、かつ高温多湿の気候のため、木製品や種子などの植物質遺物は腐って残りません。しかし、低湿地の遺跡(地下水を多く含む場所にある遺跡)の調査が増えて以降、植物の検出例が増加しました。編み物やカゴもそのひとつです。

有名な低湿地遺跡として青森県の三内丸山遺跡、足利遺跡、佐賀県の東名遺跡、福井県の鳥浜貝塚が挙げられ、なかでも東名遺跡からは、国内でもっとも多い約740点の編み物・カゴが出土しています。出土したカゴは一体どんな使い道があったのかを見ていきましょう。

カゴなど編んだり組んだりする技術で製作されたものは「編組製品」とよばれ、食料や資材などの採取・運搬に利用されていたほか、目のすき間を活かしてザルやフルイにしたり、採取した木の実などを入れるためのポシェットとしても使っていました。

木の実の貯蔵に大活躍したカゴ

東名遺跡では大人の上半身ほどある大きなカゴが、ドングリが入った状態で多数見つかっています。貯蔵穴という穴にドングリが入ったカゴを入れて水漬にし、虫を殺したり、短期間の生貯蔵をするために使っていたと考えられます。

またカゴは底が破けた状態で見つかることが多く、水漬けすることで強度が下がってしまうからだと考えられます。カゴは繰り返し使用せず1シーズン限定で使い捨てにするような使われ方だったのかもしれない。

8000年も前に確立していた「編む技術」

東名遺跡は約8,000年前、縄文時代早期の遺跡です。この遺跡では現代につながる編組技法がほぼすべて確認できたほか、形状によって素材植物や技法が使い分けられていました。8000年も前から「編む技術(編組技法)」が確立していたのです。

進素材研究と資源利用

低湿地遺跡から見つかった編組製品は、縄文時代の編組技法を明らかにするだけでなく、縄文時代に利用した植物素材の解明にも役立っています。

縄文人は狩猟採集だけでなく、植物資源を上手に選択し、また資源を管理しながら生活していた人々だったのです。

INFO 縄文村講演会のお知らせ

貝塚が語る 縄文の魅力
- 学史的貝塚を読みとく -

日時 2026年2月1日(日)

13:00 ~ 16:30 (開場 12:30)

会場 東松島市コミュニティセンター

申込 申込不要・聴講無料

国史跡指定30年を迎えた里浜貝塚、そして千葉県加曽利貝塚、愛知県吉胡貝塚。日本考古学を進展させた3大貝塚にスポットをあてた講演会を開催します!

観味美味 みりよく発見! ひがしまつしまの観光と物産



今が旬! 東松島いちご狩り情報

大曲地域にある「イグナルファームいちご園」が今年もオープンします。高設栽培のため摘み取り時の身体への負担も少なく、ハウス内は広い造りとなっていますので車椅子の方も楽しみたいだけます。お子様連れのご家族、親子三世代、ご友人、大切な方と笑顔あふれる楽しい時間をお過ごしください。

【完熟いちご30分食べ放題】

■開催期間 2月1日(日)から5月上旬までの土日・祝日のみ営業

※完全予約制となります。10名を超える団体のお客様は平日の予約可能。

■開園時間 10時~13時(12時30分受付終了)

■申込方法 下記二次元コードまたは電話で申込み

■所在地 イグナルファームいちご園 (東松島市大曲字 檜前地内)

■料金 2月~3月 大人(10歳以上):2,500円 4歳~9歳:1,300円 3歳以下:無料
4月~5月 大人(10歳以上):2,300円 4歳~9歳:1,200円 3歳以下:無料

■お得な情報 今年は備え付けの練乳がかけ放題です。

■注意 摘み取ったいちごのお持ち帰りはできません。

■問 (株)イグナルファーム ☎090-1935-2679



ご予約はこちら

道の駅東松島 VR体験コンテンツが新しくなりました



開業時から人気コンテンツの一つである観光棟のVR体験が、これまでのブルーインパルスの2種類に加え、新たに「奥松島遊覧船」が追加となりました。

ブルーインパルスと同様に5分程度の映像となります。臨場感あふれる奥松島の船旅をぜひお楽しみください。

■体験可能時間 9時~17時まで

■問 道の駅東松島 ☎25-6301